

～院長コラム～

『大腸内視鏡検査に芍薬甘草湯』

胃内視鏡検査の際に、芍薬甘草湯(しゃやくやくかんぞうとう)を散布すると胃の動きが止まって検査がしやすくなることはわかっています。

胃のバリウム検査でも、胃が動くと読影しにくいいため、検査前に芍薬甘草湯を飲んでもらいます。

芍薬甘草湯は、もともと“こむら返り”の漢方薬です。

足がつった!となったら直ちに1包飲みます。

5分以内に治ります(超速効性)。

私は2-3分で効きます。

これを大腸内視鏡検査に応用しておられる先生がいます。

近年高齢者が便潜血の結果を受け、大腸内視鏡検査を受ける機会が増えているそうです。

検査時に腸管の攣縮予防に用いる抗コリン薬、ブスコパンの適応がない患者さんがいます。

痛みや、攣縮のため内視鏡の挿入が困難で、検査に時間がかかる例が多くなります。

そこで、腸管の攣縮部位である収縮輪に直接芍薬甘草湯を散布します。これで大腸の内腔面積が拡大し、大腸弛壁緩作用があることが分かりました。

胃の検査で使うペパーミントオイルは、大腸内視鏡検査では適応が認められておらず、現実的には芍薬甘草湯の方が有用です。

芍薬甘草湯は安いし、使い勝手が良いでしょう。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2016年3月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

